

荒川の豊かな自然「三ツ又沼ビオトープ」は、流域の学校や園、企業や団体などが関わることで、守られています。2021年12月～2022年1月に行った皆さんの取り組みをご報告します！



『荒川ハンノキプロジェクト』は、埼玉県県のチョウに指定されている「ミドリシジミ」を増やすための取り組みです。幼虫の食べものとなる、ハンノキを育て、三ツ又沼に移植し、ミドリシジミが増える環境を目指しています。

荒川ハンノキプロジェクト

上尾市立太平中学校

12月18日 ハンノキの植え戻しとミドリシジミ、ハンノキの調査

学校で育ててもらったハンノキは、順調に生育し、6本も三ツ又沼ビオトープに植え戻すことができました。平成13年からハンノキプロジェクトが始まり、植え戻した本数は今回で累計432本となりました。少しずつでもミドリシジミが住みやすい環境に近づくことを祈っています。

調査ではミドリシジミの卵探しとハンノキの生育状況を測りました。普段触ることの無い樹高を図る装置を使って協力しながら測定を行いました。ミドリシジミの卵調査では1mmにも満たない小さな卵をルーペで探します。この日は科学部が大発見！6つかたまりで産んでいる場所を見つけました！近年はかたまりでの産卵を確認できていなかったの、嬉しい発見となりました。



科学部が見つけたミドリシジミの卵



ハンノキの植え戻し



ミドリシジミの卵探し



ハンノキの樹高調査

荒川の草花を育てようプロジェクト

『荒川の草花を育てようプロジェクト』は、三ツ又沼ビオトープを在来種の花でいっぱいにするための活動です。近隣の学校や家庭で三ツ又沼の在来植物を育ててもらい、取れた種を三ツ又沼にまくことで、在来種の花を増やしています。

わくわく講座

12月5日 「三ツ又沼の生きものの調査体験」

上尾市立富士見小学校のわくわく講座にて、三ツ又沼の生きものの調査体験を行いました。有志で8組12名が参加してくれました。三ツ又沼ビオトープで活動している「荒川の自然を守る会」と協力し、沼の生きものの調査を行いました。事前に仕掛けた罫を回収し、魚を種類ごとに仕分ける作業をしました。参加した子どもたちは魚が大好きで、体験終了後も魚の仕分けに協力してくれました。



捕獲した魚類の観察



オンライン画面

1月12日 4校合同「種のお返し式」

荒川の草花を育てようプロジェクトに関わっている上尾市立小学校同士4校をオンラインでつなぎ、合同で「種のお返し式」を実施しました。コロナにより十分に世話ができないこともあったそうですが、今年度もたくさん種を採集することができました。皆さんの種は、三ツ又沼ビオトープで芽生え、育ってくれるはずです。是非三ツ又沼ビオトープで四季折々の草花を観察に来てください。

川島町立つばさ南小学校

1月18日 「三ツ又沼ビオトープについて講話」



講話の様子

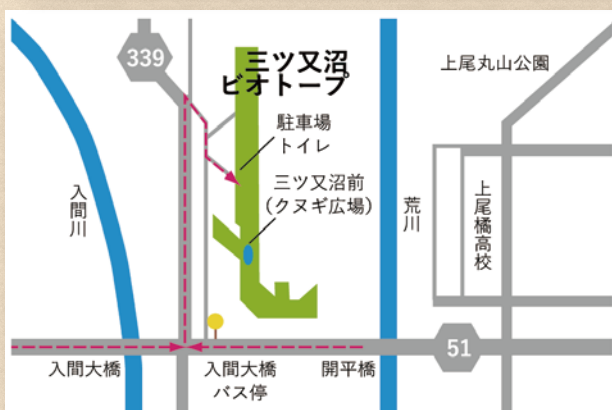
つばさ南小学校では、総合的な学習の時間を利用して、川島町のすごいところを調べており、学習の中で三ツ又沼ビオトープを調べ学習の一つのテーマに選んでいます。そこで、三ツ又沼ビオトープの成り立ちや、保全活動について説明してきました。生徒の皆さん自然が大好きで、三ツ又沼ビオトープで見られる生きもの紹介の時は特に活発に発言してくれました。次は三ツ又沼ビオトープに生きもの観察に来てくださいね。



写真上 火入れ時 下 火入れ後

1月21日 ヨシ原の火入れ

三ツ又ビオトープにて、ヨシ原の火入れを行いました。当日は、あらかわ市民環境サポーターを含む地域の環境団体や教育機関、NPO等の協力により広範囲を燃やすことができました。ヨシが燃えると湿地の維持や、地面に太陽が当たり湿地の希少な植物たちの芽生えを促すことができます。また、ヨシは地上が燃えても根は生きており、春に新たに芽生えることでオオヨシキリやカヤネズミのすみかになります。



荒川の自然を守るボランティア募集

外来植物の除去などビオトープの自然を守る活動を行います。活動を通して、荒川の自然や生きものに触れ合えます。荒川の貴重な自然が残る「三ツ又沼ビオトープ」を共に守り育てましょう！

活動案内

5月8日(日) 9:00～12:00

親子自然塾三ツ又・遊んで学ぼう

「草つみ・草遊びと管理作業」定員 30名

春の息吹あふれる三ツ又沼ビオトープで自然を楽しみましょう。背を伸ばし始めたアレチウリ・オオバタクサ等を採取します。

参加費：100円

集合場所：三ツ又沼ビオトープ 駐車場



活動詳細